

「地域との協働による障がい者・ 高齢者等要援護者支援のための 防災シミュレーション訓練」

2010年度

防災教育チャレンジプラン実践報告

(高津養護学校・たかつ地域ネットワーク推進会議)

川崎市高津区向ヶ丘

高津養護学校

地域ネットワーク推進会議の目的・構成

- 目的: 本校の地域支援機能の充実と地域との連携と協働の活性化を図り、本校児童・生徒の地域生活充実のため、保護者をはじめ、本校が所在する地域・通学地域の教育・福祉の関係諸機関、団体等との情報交換や情報を共有し、共通課題解決への連携と協働を発展・推進させることを目的に設置する。
- 構成
 - (1) 校長
 - (2) PTA代表
 - (3) 福祉行政関係者
 - (4) 教育行政関係者
 - (5) 地域社会福祉協議会職員
 - (6) 地区社会福祉協議会青少年福祉部会代表
 - (7) 町会・自治会等住民代表
 - (8) 福祉団体・NPO等福祉関係者
 - (9) 福祉ボランティア代表
 - (10) その他の関係者
 - (11) 本校職員

2010年度 高津養護学校 地域ネットワーク推進会議の事業概要

- (1) 学校開放事業に関すること
(学校施設開放 ・ 学校公開講座)
- (2) 障がいの理解と特別支援教育の理解の推進に関すること
- (3) 地域資源の涵養と人材の育成に関すること
(わくわくスタジアム ・ 防災ボランティア養成)
- (4) 障がい児・者の地域生活充実のための環境づくりに関すること
(防災シミュレーション訓練(高津区協働事業))
- (5) 関係諸機関との情報共有と課題解決のための連携と協働に関すること
- (6) その他 地域の教育と福祉に関すること

今年度の実施内容・成果(1)

- 7月9日、24日、8月30日、9月16日、29日：
保護者・支援者向け防災学習会
(各回2時間：20名程度、計延98名参加)



今年度の実施内容・成果(2-1)

- 防災ボランティア養成講座

- 10月 9日(土):1回目

- ◎避難所で生まれる高齢者、障がい者のニーズへの対応

- 16日(土):2回目

- ◎災害時の実践的訓練

- (ジャッキアップとチェーンソー)

- 23日(土):3回目

- ◎避難所設営とその運営

- ーボランティアとしての役割」



今年度の実施内容・成果(2-2)

- 10月30日(土)

防災シミュレーション(避難所設営訓練)

参加者:120名(児童・生徒・保護者35、一般30、
行政・学校等10、ボラ25、教職員20)



避難所設営訓練(受付)



避難所設営訓練(設営)



避難所設営訓練

(体験①はだしは危険！)



避難所設営訓練

(体験②足湯でリラックス！)



避難所設営訓練

(体験③トイレ設営！)



避難所設営訓練

(情報提供は掲示板で！ 静かな避難所を目指す)



動く掲示板

避難所設営訓練

(要援護者支援ボランティアの活躍)



避難所設営訓練

(教員とボランティアによる聞き取り調査)



要援護者支援に配慮した避難所設営

- 可能な限り家族ごとに仕切り板(PCb)を使用する。
- 静かな避難所を目指す。(スピーカー不使用)
- 避難者の孤立化を防ぐため足湯サービスを実施し、コミュニケーションの機会とする。
- 子どもには、好きなおもちゃなど持参させる。可能なら遊び場の設置も検討する。
- 支援専門員(教員)とボランティアが協力して、避難者に聞き取り調査をする。(緊急度調査)
- 同時にできる限りの情報を避難者に伝える。
- 特別な支援が必要な方は、保護者・支援者ととともに別の場所に移動していただく。(二次避難所的発想)
- 避難者のうち可能な方にはボランティアをお願いする。
- できる限り多くのトイレが設置できるよう工夫する。

今抱えている課題

- 地域の障がい児者や高齢者をはじめとする災害時要援護者を日常支援しているボランティアや施設職員等(支援者)とのさらなる協力関係強化に努め、安全・安心な地域づくりに資するため、広報活動を充実したい。
- 学校主体の取組のため、地域の要援護者の支援者には参加に対し迷いがあったようである。地道な地域活動として、継続した取組が必要である。
- 今後の事業実施について、町会・自治会など地域とのよりいっそうの協働と連携が必要。

ご協力ありがとうございました

- 地域町会・自治会の方々を始め、多くのボランティア・障がい者団体・行政関係者等、この活動を支えてくれる方々に感謝します。
- 今後とも障がいのある方々や高齢者の方々が、地域で安心して暮らせる社会づくりに寄与できればと願っています。



ありがとう